名の崎物語

第 113 号
令和7年10月1日
発　行
茨城県古河市
名の崎会広報部会

第28回 名の崎まつり

ご挨拶 2025年(R7)8月23日　名の崎会会長 染野 則夫

みなさん、こんばんは。そして、ようこそ。第 28 回名の崎まつりにご来場頂き有難うございます。

本日は、針谷力市長、中村はやと衆議院議員、永岡桂子衆議院議員、森田卓歩県議会議員をはじめご来賓の皆様に、お忙しい中ご来臨を賜り有り難うございます。この祭りは、地域の多くの皆様のご協力の下、今年も無事に開催する事ができました。

昨年は、突然の夕立に見舞われ中断を余儀なくされ、秀華会の滝川先生の「最後に、皆さんで一曲盆踊りを踊って終わりにしましょう」とのかけ声の下、多くのみなさんに足元の悪いなか、踊っていただき締めて頂きました。夕立での中断を払拭、一体感を持って終了することが出来ました。

盆踊り、幼稚園の皆さんの和太鼓、小中学生の演技、フラダンス、お囃子・お神輿など、また、模擬店等も含めて伝統文化・伝統芸能です。お祭りそのものが、名の崎まつり全体が、日本に根付いた伝統文化、伝統芸能です。「名の崎まつり、名崎にあり、笑顔ある楽しいまつり」を、皆さんと共に長く続けて行きたいと思います。

今年もこうして、子どもさんからシニアまで、世代を超えて人々が集い、演技を披露、満面の笑みを浮かべての応援の姿、皆さまの温かいご支援を心より感謝申し上げます。

これから、後半の演技となりますが、笑顔で、楽しんで頂きますよう、お願いします。重ねて、皆様のご支援ご協力、心より感謝申し上げまして、挨拶と致します。本日は、有り難うございます。

あとがき

第 28 回名の崎まつりに際しまして、名崎地区内外の多くの皆様より、準備や練習、そして、演技、模擬店出店とお疲れ様でした。また、貴重な協賛金を賜り、温かい志に衷心より感謝申し上げます。

お陰様で笑顔ある楽しいお祭りになりました。有り難うございました。

地域一体となって盛り上げた名の崎まつり　第20地区地区長 永井 行男

第28回名の崎まつりが8月23日（土）15時～21時 名崎小学校で盛大に開催されました。

名の崎まつりを通して

◎普段会う機会が少ない地域住民同士が顔を合わせたり、話をしたりして人々を結びつけ、笑顔で一緒に楽しんで幸福感が増しました。

◎お囃子（三和郷土芸能保存会）、神輿（下神会）、盆踊りなど伝統行事を体験して、古くから伝わる良さ、名崎地区に住んでいることの誇りを感じ、参加者の仲間意識が高まりました。

◎名崎地区の魅力を発信する絶好の機会となりました。

名の崎まつりは第 20 地区行政区にとって唯一、最大のイベントであり、交流とつながり、そして団結と絆づくりの象徴です。我々が住んでいる名崎地区の文化や伝統を次世代に伝える重要な手段です。

しかし、社会情勢の変化や超少子高齢化の影響、担い手不足、補助金削減、資金調達の問題、マンネリ化など様々な課題に直面しています。

持続可能で多様な世代が楽しめるイベントへ

□若者、子育て世代、女性が企画・運営の段階から斬新なアイデアを提案することで、新しいイベント内容が追加され、参加者を飽きさせない工夫が生まれるでしょう。

□集客力を高める広報活動

○早期に広く情報発信することでまつりの存在を知ってもらい、期待感・参加意欲を高め、来場を促進させましょう。

○若い世代には SNS で、幅広い層にはホームページで写真や動画等詳細な情報を発信し、若い世代とのつながりをつくりましょう。

□子ども向け、若者向け、高齢者向けなどターゲット層に合わせて企画し、提供することで集客力アップ、満足度を向上させましょう。

□今年度のまつりからフィードバック、メンバー間のフィードバックを活用することで、次回の計画に反映されてまつりは年々進化し続けることができるでしょう。

第28回 名の崎まつり
～世代を超えて響き渡る和太鼓～
認定こども園さんわ　園長　新井　正覚

本年も名の崎会主催の「名の崎まつり」に、園児、及び太鼓塾三八禧（たいこじゅくみやこ）の塾生（卒園生）が和太鼓で参加させていただきました。

昨年はあいにくの天候により心配の多い中での舞台でしたが、今年は夕立の心配もなく、子どもたちが元気いっぱいに和太鼓の演技を披露することができました。

名の崎まつりは、地域の方々との触れ合いを深める大切な機会であり、世代を超えた交流の場として、私たち園にとっても特別な意味を持つ行事です。なかでも和太鼓は当園教育の大きな特色であり、子どもたちが全身でリズムを感じ取り、仲間と心を合わせながら力強く奏でる姿は、日本文化の魅力そのものです。自国の伝統に親しみ誇りを持つことは、やがて異なる文化を理解し尊重する心の土台となります。

地域に支えられながら、園児たちが和太鼓を通じて成長していく姿を、これからも大切に見守ってまいります。

第28回 名の崎まつり
認定こども園なさき　園長　大山　大地

園のカリキュラムとして取り入れている、幼児の心と体を最も機能的に発達させ、運動感覚、芸術感覚を総合的に高める「音体教育」。その一環である和太鼓の演奏を、今年も「名の崎まつり」にて披露させていただくことができた。

熱中症対策の観点から、練習はほとんど室内で行うこととなり、園での夕涼み会の披露を除くと、野外での演奏は数回程度。

そんな不安を吹き飛ばすかのような、会場に立つ園児の凛々しい姿。おのずと場内に沸きあがる歓声と拍手が物語る、最高の演奏。

僅か四・五歳の幼児が、ここまで人々の心を揺さぶるものなのかと、毎回ながら驚き、感動させられる。

近年は猛暑を通り越し、災害級の暑さともいえる酷暑。これからの時代は、環境の変化にも対応した新しい「まつり」の姿が求められていくのではないだろうか。

二十八回という開催数は、もはや地域に根付いた伝統の証でもある。今後も、園児とともに「楽しみながら」参加させていただき、できることならば次の世代に継承していきたい。

園児にとって素晴らしい披露の場をご用意いただいた、実行委員会をはじめ、名の崎まつり開催に携わるすべての方々に、感謝いたします。ありがとうございました。

こども園さんわ・OBの太鼓塾三八禧

こども園なさき　年中さん・年長さん

協賛ありがとうございます

第28回名の崎まつり 収支決算書（見込み）

＜収入の部＞　(単位:円)

項目	決算額	備考
自己資金	1,540,777	協賛金・会費含む
事業助成金	500,000	古河市コミュニティ活動助成金
合計	2,040,777	

＜支出の部＞　(単位:円)

項目	決算額	備考
報償費	226,555	まつり出演者、協力者謝礼
食材費	194,100	各模擬店食材費
食糧費	328,409	草刈り、踊り練習、反省会等
会議費	14,766	実行委員会お茶代等
借上料	1,044,700	テント、テーブル、いす、舞台、音響 他
消耗品費	132,581	うちわ、印刷用紙、花紙代 他
燃料費	12,936	軽油代、車借上げ代
雑費	86,730	保菌検査代、クリーニング代、煙火代 他
合計	2,040,777	

名の崎まつりが成長の糧に

三和東中学校長　荒井　幸枝

この度、地域の皆様が一堂に会する「名の崎まつり」が盛大に開催されましたこと、心よりお慶び申し上げます。本校の生徒たちも、この伝統のあるお祭りに参加させていただき、誠にありがとうございました。

当日は、行政区が一斉に集まる中、老若男女を問わず、多くの方々が祭りの熱気を分かち合っている様子に感動いたしました。特に、本校の PTA による模擬店には多くの地域の皆様にお立ち寄りいただき、感謝申し上げます。

また、吹奏楽部の演奏には惜しみない拍手をいただき、盆踊りでは多くの中学生が地域の皆様と一緒に輪になって踊っている姿は、まさに地域と学校が一体となった素晴らしい光景でした。

生徒たちにとって、学校生活だけでは得られない貴重な経験ができたことと思います。このお祭りが、生徒たちの成長の糧となり、また、地域の皆様との絆を一層深める機会になったことを確信しております。今後とも、地域と学校が連携し、この素晴らしい伝統を未来へと繋いでいければ幸いです。

三和東中学校　吹奏楽部

祭りを彩るダンス１

祭りを彩るダンス２

祭りを彩るダンス３

令和7年度
名の崎まつり寄付協賛金

（敬称略）

行政自治会第20地区（14行政区）	70,000円
㈱アクツ	10,000円
もり　とこや	5,000円
峯　和夫	5,000円
山中モーター	5,000円
峯建具店　峯　好四郎	5,000円
持　明　院	10,000円
㈱YAMANAKA	5,000円
㈲増田商店	5,000円
㈲山中倉庫　山中　将平	5,000円
おおつか接骨院	5,000円
㈲松栄宅建	10,000円
菊池肥料店	5,000円
㈲桜井麻治商店	5,000円
㈱イチデン　塚原　秋男	10,000円
塚原オートサービス	5,000円
石崎美容室	5,000円
髪処　ワゴン	5,000円
㈱小林農機	5,000円
㈱レンタルのニッケン古河営業所	5,000円
福島ビニール工業所　福島　久夫	5,000円
三和みつなみ会　並木　恭之	10,000円
認定こども園　さんわ	5,000円
㈱三和プラント	10,000円
㈲倉本畳工事店	5,000円
多々羅　絡	5,000円
万　福　寺	10,000円
古谷　勉	5,000円
茨城日野自動車㈱古河支店	10,000円
㈱福島工業　福島　進	10,000円
小嶋板金　小嶋　弘	5,000円
三和尾崎郵便局	5,000円
中村商店　（学校西）	5,000円
ピュア美容室	5,000円
ファミリーマート　古河名崎店　窪寺	5,000円
医療法人　塚原医院	5,000円
㈲倉本工業	5,000円
倉本税理士事務所	5,000円
認定こども園なさき	20,000円
不動産センター㈱	5,000円
永　光　寺	10,000円
栃木自動車整備工場㈲	5,000円
トチギ電機	5,000円
関根電気工業㈲	5,000円
いろは亭	3,000円
三恵自動車工業	5,000円
㈲サンワ興業	5,000円
岩崎動物病院	5,000円
㈱山崎プリント	5,000円
㈱丸栄商店	5,000円
㈱スーパー日の出	5,000円
小林測量事務所	5,000円
染野　則夫	10,000円
㈲塚田自動車　塚田　孝	5,000円
㈱吉賢工機	3,000円
㈲ライフケア共和　三和会館	10,000円
ノーブル理容室	5,000円
和野司法書士事務所	5,000円
清水不動産	5,000円
弥生自動車	5,000円
㈲コバデン　小林　利行	10,000円
登知喜屋	3,000円

しっかり狙って

どれにしようかな

盆踊り

盆踊り

子どもも頑張って踊ってます

さいとう種苗㈱三和店	3,000円
海峡	5,000円
オプティック　ハマノ	5,000円
㈱オサキオート	5,000円
力将接骨院	10,000円
海光電業㈱	10,000円
舟橋重工㈱	5,000円
㈱三和豆水庵	5,000円
ピアゴルフレンジ	5,000円
為我井工業	5,000円
居酒屋　酒天王	5,000円
㈲清水金型製作所	5,000円
舟橋リース㈲	5,000円
加下間行政区	5,000円
メンテナンススタンド　フナバシ	5,000円
㈱渡辺本家倉庫	10,000円
㈱日生産業	5,000円
ヘアーサロン大谷	5,000円
上野精肉店	5,000円
㈲つくばね　渡邉　孝雄	10,000円
大衆食堂　きぬ川	5,000円
ヤチヨ設備㈱	10,000円
長　命　寺	10,000円
㈲上野金属	10,000円
いなば農機サービス	10,000円
㈲中村建材	5,000円
上野　勝	5,000円
大谷　正明	5,000円
㈲大谷組	10,000円
㈲大谷鉄工	5,000円
三和企業㈲	10,000円
居酒屋　あやめ	10,000円
特別養護老人ホーム 四季の郷	10,000円
松沼土建	10,000円
上野農産加工販売所	10,000円

高塚運送㈱	10,000円
㈱ショウナン	30,000円
ミライフ㈱茨城支店	5,000円
間中橋南行政区	5,000円
三和アルミ㈱	5,000円
㈲新和工業	10,000円
㈱シキボウ物流システム	10,000円
南城　幸一	10,000円
岡本　栄	1,000円
古河市商工会第一地区	10,000円
日野自動車㈱古河工場	20,000円
八千代印刷㈲	5,000円
あじさい学園　八千代	5,000円
ピッツェリア　アミータ	5,000円
ハウオリオハナフラ	5,000円
ぬりかえる㈱	15,000円
古河市地域女性団体連絡会	5,000円
秀華会　滝川秀華	5,000円
散髪工房	5,000円
ヘアーカンパニーズセイヤ	5,000円
森田珠算教育会館	5,000円
青嵐荘蕗のとう舎	5,000円
㈱岩井自動車学校	10,000円
名の崎会広報部会	5,000円
名崎子ども会育成連合会	5,000円
名の崎会生活部会	5,000円
名崎小PTA	5,000円
三和東中PTA	5,000円
三和東中PTA　OB	5,000円
名の崎会スポーツ部会	30,000円

合計　963,000円也

御協力ありがとうございました！

PTAも頑張ってます

焼き鳥、暑さとの闘い

ボール取れるかな

ハウオリ・オハナ・フラ

名崎キッズダンス

名崎小学校で盆踊りの練習をしました！

名の崎まつり によせて

秀華会　滝川流二代目家元
滝川　秀華　こと　古谷　紀佐子

この度は、28 回続く歴史と伝統ある名の崎まつりが盛大に開催されましたこと誠におめでとうございます。

会長をはじめ、役員の皆様の惜しみない努力が実を結び素晴らしいお祭りでした。

思い起こせば昨年は悪天候に見舞われ雷雨の中、皆様と手と手をつなぎ踊りましたね。曲が終わった瞬間の達成感と、雨と一緒に落ちた涙の感動は生涯忘れることのない思い出となりました。

今年は毎日発表される命にかかわる危険な暑さへの準備、対応、運営と御苦労があったことと思います。地域の子供たちの笑顔や、皆様の楽しそうな表情を見て、いかにこのおまつりが地域の絆を深める大切な行事であるかを再確認し、役員の皆様の熱意に頭の下がる思いでした。

最後まで、多くの皆様と一緒に提灯の灯りの下で踊り、楽しいひとときを過ごさせていただきました。秀華会一同、心から御礼申し上げます。

末筆になりますが、名の崎会の益々のご発展と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

地域で育つ　なさキッズ

名崎小学校長　石井　美津子

第 28 回「名の崎まつり」のご盛会、おめでとうございます。地域の皆様のアイデアが詰まった「名の崎まつり」を本校児童たちも充分に堪能させていただいておりました。

特に、本校では昨年に引き続き、7 月 17 日（木）に名の崎会の方や秀華会の先生方にご指導をいただきながら、全児童が「炭坑節」「日光和楽」の盆踊りの練習をしました。児童たちからは「覚えているよ」「すぐに思い出せた」等の声々。当日、習っていなかった曲には戸惑いながらも、楽しく盆踊りに参加する児童の笑顔が印象的でした。もちろん、校長の私も児童と同じく、習った踊りには自信をもって、習っていない踊りは真似ながら楽しませていただきました。地域での一体感を感じられた「名の崎まつり」でした。

また、本校は本年度創立150周年の節目の年を迎えております。児童たちが練り上げ、作成した 150 周年記念のメッセージ「夢に向かって輝く未来～笑顔あふれる なさキッズ～」。自分たち自身に向けて、そして、さらにこれからのなさキッズに向けてのメッセージにしたそうです。地域の皆様にも見ていただけるよう外フェンスにも掲示いたしました。本年度一年間を創立150周年イヤーとし、様々な行事に思いを込め、形と心に残る一年間にしたいと考えております。

常日頃より、「なさキッズ」の「知・徳・体」の成長をともに支え、ともに喜び、「笑顔」につないでいただいていることに改めて感謝申し上げます。

これからも地域とともに進化・深化し続けていく「名崎小学校」を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

この部分には、地元協力者の
広告が掲載されています。